



成丘だより

成増（なります）学びのエリア
（赤二中・成増小・成増ヶ丘小）



成丘小 HP
二次元バーコード

板橋区立成増ヶ丘小学校
学校だより 6月号
令和7年 5月30日
校長 高野 剛一

先生たちはチャレンジを続けています

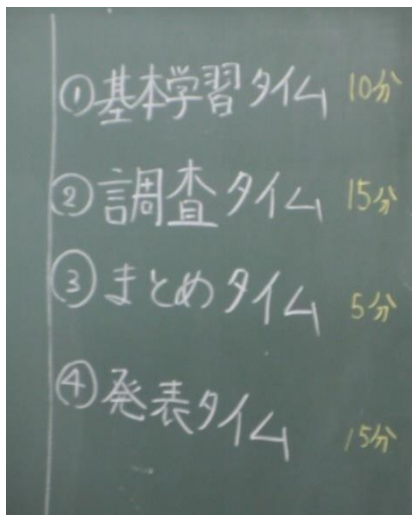
校長 高野 剛一

本校では、今年度の教育活動における目標を「多様な集団の中で、自走できる子を育てる。」と設定しました。自走とは、「目的達成のために、自らの判断で主体的に活動、改善しながら行動すること」と捉えています。そこで、学校生活の様々な場面において、子供自身が、自分で決めて取り組む「自己決定」の場を多く設定することを計画しています。特に先生たちは、自己決定しながら主体的に学習を進める授業づくりにチャレンジしています。



【2年生 生活科 「ぐんぐん育て 私の野菜」】

自分で決めた野菜の育て方について調べながら、収穫までの計画を立てました。収穫というゴールがあることで、子供たちは自分事として調べる学習を進めていました。



【3年生 算数「ぼうグラフと表」】

学校で起きたけがの状況が、「時間」「場所」「月」ごとにランダムに書かれている資料があります。その資料を読み取り、自分で視点を決めてグラフを作成します。例えば、「場所」を視点に決めた子は、校庭、教室、廊下など、けがが起きた場所ごとに表にまとめた後、棒グラフを作成していました。

【4年生 社会「都道府県を調べよう」】

「どの都道府県を調べるか」「どんなツールで調べるか（本、インターネット等）」「一人又は友達と調べるか」について、自分で決めてから調べ学習を進めました。見通しをもって学習できるように、学習の進め方について、左の写真のように示されています。

上の例は、ほんの一例です。自己決定をする授業は全ての時間でできるものでもないので、どの教科、単元で自己決定場面を設定するとより効果的かについて、同じ学年の先生たちなどと意見交換をしながらチャレンジしています。

先生たちのチャレンジは、まだ始まったばかりです。基礎的基本的な学習内容はしっかりと教え、定着が図れるように繰り返し指導していくとともに、子供たちが自己決定しながら主体的に学習を進められる授業づくりを目指していきます。そして、子供たちが、「先生、今日は何やるの？」ではなく「先生、今日私は、〇〇についての学習を自分で進めるから楽しみなんだ！」と自分から言える学校にしていきたいと思います。